

この小説の映像化はきっと無理だろう、とずっと思ってきました。  
きれいなラブストーリーにすることはできるかもしれない。  
だけど、この小説の根底にある主人公たちの痛さや切実さが  
映像になるとは到底想像できなかったのです。

だから、完成した映画を観て、とても驚きました。

よくここまで彼らのことを理解し、

心に迫ってくれたと感動し、大きな感謝に包まれました。

作中の架と真実も、きっと同じ気持ちだと思います。

辻村深月 (原作者)

矛盾と本音。的確に痛いところを突く映画。

SYO (物書き)

鑑賞後のあたたかい気持ちで、劇中のセリフを何度も反芻した。

奥浜レイラ (映画・音楽パーソナリティ)

「他人は自分を映す鏡」と言うけれど、  
彼らに嫌悪感を抱く人は、自分もどこか痛々しいのかもしれない。

山崎怜奈 (タレント)

絶対見ておくべき、と真ん中に刺さる1本!

工藤雅子 (東京旭屋書店)

映像が凝っていて美しく、最後まで目が離せない!

内田俊明 (八重洲ブックセンター)



原作 傲慢と善良  
辻村深月 著 (朝日文庫)

Illustration by 雪下まゆ

(順不同・敬称略)

9.27 FRI ROADSHOW

劇場内での映画の  
撮影・録音は禁止です。  
www.eigakan.org  
0120-550098

Arrogance

and

Virtual

善良と傲慢

9.27 FRI

藤ヶ谷太輔 奈緒

倉 悠貴 桜庭ななみ / 阿南健治 宮崎美子 / 西田尚美 前田美波里

原作: 辻村深月『傲慢と善良』(朝日文庫/朝日新聞出版) 監督: 萩原健太郎 脚本: 清水友佳子 音楽: 加藤久貴 主題歌: なとり「糸電話」(Sony Music Records)  
製作: 藤原英美 車田口新一郎 中村浩子 中西一雄 渡部秀一 奥村景二 久保田修 河内真人 プロデューサー: 瀬戸麻理子 高尾紗織 田中美幸 近藤紗良 スーパーバイジングプロデューサー: 久保田修  
監督補: 山下久義 ライン・プロデューサー: 中川聡子 撮影: 日下誠 照明: 織田誠 録音: 渡辺寛志 美術: Ren 装飾: 酒井拓磨  
スタylist: 前田勇弥 キャラクタースーパーバイザー (ヘアメイク): 橋本中二 (ヘアメイク): 櫻井安里紗 スクリプター: 唐仁原朝方 編集: 平井健一 田中夕貴 VFXスーパーバイザー: 太田寛 助監督: 佐藤匡太郎 制作担当: 多賀典彰  
製作: 映画「傲慢と善良」製作委員会 製作幹事: エイベックス・ピクチャーズ 制作プロダクション: C&Iエンタテインメント 配給・宣伝: アスミック・エース ©2024 映画「傲慢と善良」製作委員会

婚約者の知りたくなかった過去と嘘とは? 2023年最大のベストセラー映画化  
最後にたどりつく「一生に一度の選択」を描く、感動の恋愛ミステリー

坂庭真実

英会話教室で働く事務員。

アプリで出会った架から

待ち望んだプロポーズを受けるが...



西澤 架

元カノに未練を持ちながら

婚活で出会った真実と

あるきっかけで婚約するが...



# 100万部突破！ 「人生で一番刺さった」と 圧倒的な共感呼び 2023年最も売れた小説、映画化！

ジュンク堂書店 池袋本店調べ 2023年売上、文芸／文庫 新書ジャンル

## INTRODUCTION

男女それぞれの視点でリアルな恋愛観と価値観を描いた原作は第7回ブクログ大賞を受賞し、20代、30代を中心に多くの共感呼び、発行部数は100万部を突破！話題は広がり続けている。主演は藤ヶ谷太輔×奈緒。藤ヶ谷は「人生で一番好きな小説」奈緒は「辻村作品に出演するのが夢」と熱望。婚活で付き合い始めるも1年も将来を決めない【傲慢】な架と、親の敷いたレールの上で【善良】に生きてきた真実を等身大で演じる。ラストには、映画版ならではのオリジナルな展開も待ち受けている。

## STORY

仕事も恋愛も順調だった架だったが長年つきあった彼女にフラれ、マッチングアプリで婚活を始める。そこで出会った控えめで気の利く真実と付き合い始めるが1年たっても結婚に踏み切れずにいた。しかし、真実からストーカーの存在を告白された直後、「架くん、助けて！」と恐怖に怯えた着信を受ける。彼女を守らなければとようやく婚約したが、真実が突然姿を消した。両親、友人、同僚、過去の恋人を訪ね居場所を探すうちに、架は知りたくなかった彼女の過去と嘘を知るのだった――。

# 運命の恋、 そう信じたかった

## 消えた婚約者。〈知りたくなかった過去と嘘〉を紐解く

## 8つの証言

「婚活は就職活動に似ている」

【待ち受ける現実】



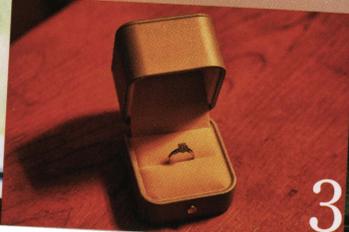
「あの子と結婚したい気持ち、今何パーセント？」

【ずっと決められなかった架】



「その男と駆け落ちしたってことはない？」

【残された婚約指輪】



「架くん、助けて！あいつがいる...！」

【ストーカーの存在】



「あの子、自分で決めるより人に従ってるほうが楽だったんでしょ」

【選ぶことを避けてきた真実】



「私は70点だから。70点分しか彼は私を好きじゃないから」

【知ってしまった彼の本音】



「お見合いはお母さまの強い要望だったのです」

【価値観を押し付ける母親】



「運命という言葉、信じたくなる夜です」

【大好きだったあの日】

